



安全意識の高い 企業風土を 醸成していきます。

東京地下鉄株式会社
代表取締役社長

山村明義

平素より東京メトロをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

東京メトロは、東京都区部を中心に9路線195.1kmの地下鉄を運営する首都圏の鉄道ネットワークの中核を担う企業です。一日724万人のお客様にご利用いただいている弊社にとって、輸送の安全の確保は最も重要な使命です。平成12年の日比谷線列車脱線衝突事故のような事故を二度と起こさないよう、当該事故はもとより、過去の事故を教訓とした安全対策を実施するなど輸送の安全水準の維持・向上に取り組むとともに、安全を最優先とする企業風土の醸成と定着に努めております。

本報告書は、平成28年度の弊社における輸送の安全の確保に関する取組や鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。

平成28年度については、中期経営計画「東京メトロプラン2018～『安心の提供』と『成長への挑戦』」の初年度として、「安心＝安全＋サービス」の考えのもと、重点施策として継続的に取り組んでいる自然災害対策について、施設の耐震性のさらなる向上、大規模停電対策として非常用走行バッテリーの整備、大規模浸水対策等の諸課題に積極的に取り組むとともに、ホームドア整備や新型車

両導入等の様々な施策を実施しました。

さらには、過去の日比谷線列車脱線衝突事故を心に刻み、安全意識の高い企業風土を構築すべく、新たに開設した安全繫想館^{けいそう}等を活用した安全研修を開始したほか、グループ一体となった安全確保の体制として、「東京メトログループ安全委員会」の設置も行いました。

また、本中期経営計画では「組織能力としての現場力」を高めていくこととしております。昨年4月にオープンした総合研修訓練センターを活用して、「自ら考え、行動できる」研修訓練の実施、そして各部門及びグループ、関係各社も連携した、これまで以上に高いレベルの安全文化を構築できるよう研修訓練を進めています。

今年度も引き続き、日々の安全・安定運行に向けた取組はもとより、自然災害対策の推進や危機管理機能の強化など各種施策について、関係機関とも連携し、スピード感を持って着実に実行することで、さらなる安全の確保に努めてまいります。

本報告書の内容や弊社の安全への取組についてのご意見、ご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

平成29年9月